

平成 27 年度

事 業 計 画 書

平成 27 年 3 月 27 日 提 出

平成 27 年 3 月 27 日 議 決

社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会

目 次

基本方針	1
重点項目	2
実施計画	
I. 社会福祉事業	
1. 地域福祉事業	
(1) 法人運営	5
(2) 成年後見支援事業	7
(3) 地域福祉推進計画の進行管理・評価	7
(4) 共同募金配分金事業	8
(5) ボランティアセンター事業	10
2. 小口資金貸付事業	12
3. 受託事業	
(1) 福祉サービス利用援助事業	13
(2) 生活困窮者自立支援事業	14
(3) 生活福祉資金貸付事業	15
(4) 聴覚障害者等コミュニケーション支援事業	16
(5) 在宅介護支援センター	17
4. 介護保険事業	
(1) 訪問介護事業	18
(2) 通所介護事業	19
5. 障害福祉事業	
(1) 居宅介護	22
II. 公益事業	
1. 居宅介護支援事業	23
2. 指定管理施設運営事業	24
3. 公益受託事業	
(1) 守門健康センター管理事業	26
(2) 生きがい活動支援通所事業	26
(3) 介護用品支給事業	27
(4) 軽度生活支援事業	28
III. 収益事業	
1. 会館運営事業	29
IV. 組織・機構図	30

平成27年度 社会福祉法人魚沼市社会福祉協議会事業計画

【 基本方針 】

近年、少子高齢化・核家族化が一段と進行し、高齢者世帯が増加を続ける中、地域における人間関係が希薄化し、地域での課題解決力難しくなるなど、社会環境が変化しています。加えて、景気回復の遅れから、雇用不安や生活困窮の問題など、福祉課題は複雑、多様化しています。

こうした状況に対応するため、国においては、子ども・子育て支援の充実、医療・介護サービス提供体制改革の着実な実施、国民健康保険への財政支援の拡充、生活困窮者対策などの制度改革も含め、社会保障施策を進めています。一方、社会福祉法人制度の見直しについては、社会保障審議会福祉部会において議論され、組織運営の在り方、運営の透明性の確保の在り方、業務・財務運営の在り方、行政の関与の在り方などを含め、国民の信頼に応える社会福祉法人の在り方について報告がなされました。今後は、更に情報の公開や内部統制機能の強化などに積極的に対応していかなければなりません。

このような中、本会では、平成26年度に「魚沼市地域福祉推進計画」の基本理念である『ともに認め たすけあい かがやきつづける夢と安心のまちづくり』をスローガンに掲げ、魚沼市社会福祉協議会合併10周年を記念した「魚沼市社会福祉大会」を開催しました。大会には、多くの市民・ボランティアから参加いただき、福祉のまちづくりを目指し行動することを参加者と共に改めて確認しました。私たちは、地域福祉を推進する中核的な団体として、誰もが安心して暮すことができる福祉のまちづくりを推進することを使命とし、以下の「理念」「職員行動規範」を掲げ、社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発展及び社会福祉に関する活動の活性化により、地域福祉の向上に取り組みます。

◎ 理念

あたたかい手 やさしい心で つなげよう福祉の輪

◎ 職員行動規範

- ・ 地域に出向き 住民を主体とした 地域福祉活動を展開します
- ・ 常に学ぶ姿勢と向上心を持ち 何事にも果敢に挑戦します
- ・ 共に学び共に育み共に理解し合い 人とのつながりを築きます
- ・ 高い倫理観を持ち 法令を遵守し 常に誠実に行動します

各部門の活動方針

◎ 法人運営部門

役員主導による事業の企画・実施により、執行体制の充実を図ると共に、経営コンサルタントの導入により組織強化に向けた「中期計画（仮称）」の策定に着手します。

◎ 地域福祉部門

年間行事や広報紙の活用等により、地域での「支え合い」の普及・啓発活動を行いながら、赤い羽根共同募金を主な財源とする各種福祉サービスを提供していきます。また、検討を重ねてきた成年後見支援について、制度の利用支援や活用の促進、本会による法人後見活動に取り組みます。生活困窮者の支援では「生活困窮者自立支援事業」を市より受託し、より、幅広い相談・生活支援に繋げていきます。

ボランティアセンターでは、組織的なボランティア活動の育成と連携を図るとともに活動に参加できる体制整備などを進めています。また、緊急時の災害ボランティアセンターの設置・運営が円滑に運ぶよう、訓練や研修等を行います。

◎ 介護福祉部門

平成27年度の介護報酬改定は、全体で△2.27%となり、厳しい介護保険事業の運営となります。引き続き介護事業所で掲げた「思いやりと笑顔の介護で地域福祉を支えます」を経営理念に掲げ、利用者ニーズに応え、人とのふれあいを大切にし、笑顔があふれる快適なサービス提供に努めます。また、地域に積極的に出向いてニーズを把握し、地域福祉部門との連携を一層強化しニーズに対応した新たな事業の検討を進めます。

【 重 点 項 目 】

- ◎ 中期経営計画（仮称）の策定
- ◎ 生活支援活動の強化
- ◎ 介護福祉事業経営分析により新たな事業展開の検討

◆総計

単位:千円

科 目	法人運営			備考
	H27	H26	比較	
会費収入	10,400	10,460	△ 60	社協会費
経常経費寄附金収入	2,003	2,103	△ 100	一般寄附金
経常経費補助金収入	95,752	99,168	△ 3,416	市人件費補助、共募配分金ほか
受託金収入	92,606	67,810	24,796	受託事業受託金
貸付事業収入	1,500	1,500	0	小口資金償還
事業収入	5,722	6,593	△ 871	各種事業参加費
介護保険事業収入	359,080	378,997	△ 19,917	介護報酬ほか
障害福祉サービス等事業収入	19,293	17,756	1,537	障害福祉サービス
借入金利息補助金収入	365	425	△ 60	堀之内社福借入利息償還補助
受取利息配当金収入	71	72	△ 1	利息配当金
その他の事業収入	491	2,232	△ 1,741	実習生受入ほか
事業活動収入計 (1)	587,283	587,116	167	
人件費支出	460,207	449,922	10,285	役員報酬、職員・臨時職員給料ほか
事業費支出	133,352	117,649	15,703	
事務費支出	44,110	40,048	4,062	
貸付事業支出	1,750	1,750	0	小口資金貸付金
助成金支出	3,110	2,917	193	地域の茶の間ほか助成
支払利息支出	365	485	△ 120	堀之内社福借入利息償還
事業活動支出計 (2)	642,894	612,771	30,123	
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 55,611	△ 25,655	△ 29,956	
施設整備等補助金収入	4,453	3,733	720	堀之内社福借入元金補助ほか
施設整備等収入計 (4)	4,453	3,733	720	
設備資金借入金元金償還支出	3,853	3,733	120	堀之内社福借入元金
固定資産取得支出	11,840	30,242	△ 18,402	活動車両更新ほか
施設整備等支出計 (5)	15,693	33,975	△ 18,282	
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△ 11,240	△ 30,242	△ 19,002	
基金積立資産取崩収入	0	2,000	△ 2,000	
積立資産取崩収入	13,700	30,049	△ 16,349	備品購入ほか積立金取崩
その他の活動による収入	0	8,310	△ 8,310	
その他の活動収入 計 (7)	13,700	40,359	△ 26,659	
基金積立資産支出	0	27	△ 27	
積立資産支出	0	58,000	△ 58,000	
その他の活動による支出	5,418	4,369	1,049	退職共済掛金
その他の活動支出 計 (8)	5,418	62,396	△ 56,978	
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	8,282	△ 22,037	30,319	
予 備 費 (10)	2,900	3,300	△ 400	
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 61,469	△ 81,234	19,765	

I. 社会福祉事業

1. 地域福祉事業

(1) 法人運営事業

経営コンサルタントの導入により、法人全体の経営分析を行うと共に、組織・労務・研修計画等の体系を整備し、組織強化に向けた中期計画（仮称）の策定に着手します。

また、理事会、評議員会などの機関会議を適宜開催し、その機能を充実し、役員主導による事業の企画・立案・実施の強化を図ります。

事業名等	内 容	備考
①組織基盤の確立	<p>ア 執行機関等の強化 役員主導による事業の企画・立案・実施の強化 を行う</p> <p>a 理事会、評議員会の開催</p> <p>b 監事による監査の実施</p> <p>c 委員会・部会の開催（総務・企画委員会、地域福祉部会、介護福祉部会）</p> <p>d 役員研修の実施</p> <p>イ 専門委員会の開催 本会の適正な運営を図るため、必要な都度開催する</p> <p>a 生活福祉資金貸付調査委員会</p> <p>b 福祉サービスに関する苦情解決委員会</p> <p>c 法人後見事業運営委員会</p> <p>ウ 経営コンサルタントを導入し財務分析等の実施 法人全体の経営分析を行うと共に、組織・労務・研修計画等の体系を整備し、組織強化に向けた中期計画（仮称）の策定に着手する</p> <p>エ 職員資質向上の取り組み 組織内研修では、職員研修委員会による企画・立案を行うとともに、外部研修では、県社協等の研修会に積極的に参加し職員の資質向上に努める。併せて、職員の資格取得に係る経費を助成し、常に上位の資格所得を目指すなど研修意欲を醸成する</p> <p>a 職員研修の実施</p> <p>b 資格取得助成の実施</p>	

②財政基盤の確立	<p>ア 会員の加入促進 本会の存在意義や実施事業・活動等の周知に努めることにより未加入者の加入促進を図り、一般会員の加入率70%以上を目指とする</p> <p>イ 効率的、効果的で適切な事業運営 効率的な事務の執行や経費の削減に努めるとともに、より効果的に事業を行うため、事務事業評価を実施する</p>	
③広報活動	<p>ア 「社協だより」の発行（年6回）</p> <p>イ 社協ホームページへの情報掲載…随时</p> <p>ウ 「市報うおぬま」への情報掲載…随时</p> <p>エ 魚沼市ホームページへの情報掲載依頼…随时</p> <p>オ マスコットキャラクター「ふくぴい」の活用</p>	
④火災等被災者への見舞い	火災等の発生により直接被害を受けた個人又は世帯に対し、見舞金を支給する	
⑤共同募金事業への協力	共同募金会魚沼市支会と連携し、募金活動に取り組む	
⑥関係機関・団体との連携協力	地域福祉・介護福祉事業の円滑な推進を図るとともに、地域の福祉課題の共有・解決に向け、関係機関・団体との連携・協力を進める	

◆ 地域福祉事業予算概要

単位:千円

科 目	法人運営			備考
	H27	H26	比較	
会費収入	10,400	10,460	△ 60	社協会費
経常経費寄附金収入	2,000	2,100	△ 100	一般寄附金
経常経費補助金収入	82,900	83,900	△ 1,000	市人件費補助
借入金利息補助金収入	365	425	△ 60	堀之内社福借入利息補助
受取利息配当金収入	65	65	0	利息配当金
その他の事業収入	170	1,910	△ 1,740	
事業活動収入計 (1)	95,900	98,860	△ 2,960	
人件費支出	79,752	84,100	△ 4,348	役員報酬、職員給料ほか
事業費支出	3,211	4,360	△ 1,149	保険料、修繕料、委託費ほか
事務費支出	19,284	17,780	1,504	事務消耗、委託費、賃借料ほか
支払利息支出	365	485	△ 120	堀之内社福借入利息償還
事業活動支出計 (2)	102,612	106,725	△ 4,113	
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 6,712	△ 7,865	1,153	
施設整備等補助金収入	3,853	3,733	120	堀之内社福借入元金補助
施設整備等収入計 (4)	3,853	3,733	120	
設備資金借入金元金償還支出	3,853	3,733	120	堀之内社福借入元金償還
固定資産取得支出	2,800	3,232	△ 432	活動車両(1台)
施設整備等支出計 (5)	6,653	6,965	△ 312	
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△ 2,800	△ 3,232	432	
基金積立資産取崩収入	0	2,000	△ 2,000	
積立資産取崩収入	2,800	3,039	△ 239	備品購入積立金取崩
その他の活動による収入	0	8,310	△ 8,310	
その他の活動収入 計 (7)	2,800	13,349	△ 10,549	
基金積立資産支出	0	27	△ 27	
事業区分間繰入金支出	3,046	3,689	△ 643	公益事業繰出
拠点区分間繰入金支出	4,162	5,060	△ 898	小口、受託事業繰出
サービス区分間繰入金支出	1,255	800	455	ボランティアセンター事業繰出
その他の活動による支出	4,006	3,909	97	退職共済掛金
その他の活動支出 計 (8)	12,469	13,485	△ 1,016	
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	△ 9,669	△ 136	△ 9,533	
予 備 費 (10)	500	500	0	
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 19,681	△ 11,733	△ 7,948	

(2) 成年後見支援事業

認知症高齢者、知的障害、精神障害等により、判断能力が十分でない方の権利擁護支援を推進するため、成年後見制度の利用支援や活用の促進、法人による後見活動を行う。

事業名等	内 容	備考
成年後見支援事業	<p>親族等、他に適切な後見人等がない市民に対して、本会が法人として後見人等を受任する</p> <p>ア 普及啓発・活動 イ 相談・申立手続きの支援 ウ 法人後見受任団体登録と法人後見の受任 エ 職員研修の実施 オ 関係機関との連携強化</p> <p>受任の可否は、運営委員会での助言、指導に基づいて会長が決定し、家庭裁判所に申し立てを行う</p> <p>(新規受任件数見込：5件)</p>	

◆ 地域福祉事業予算概要

単位:千円

科 目	成年後見支援			備考
	H27	H26	比較	
受託金収入	100	0	100	市受託金
事業活動収入計 (1)	100	0	100	
事業費支出	691	0	691	事務消耗、業務委託ほか
事務費支出	509	0	509	運営委員会日当、業務委託ほか
事業活動支出計 (2)	1,200	0	1,200	
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 1,100	0	△ 1,100	
事業区分間繰入金収入	1,100	0	1,100	居宅介護支援事業繰入
その他の活動収入 計 (7)	1,100	0	1,100	
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	1,100	0	1,100	
予 備 費 (10)	0	0	0	
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0	

(3) 地域福祉推進計画の進行管理・評価

「地域福祉推進計画（平成25年度から平成29年度）」は、市が策定する「地域福祉計画」と社協が策定する「地域福祉活動計画」を一体的に策定したものであることから、両者の連携を一層深めながら、各事業を推進する。また、中間年にあたる本年、計画の進捗状況や事業評価等の検証に努める。

事業名等	内 容	備考
地域福祉推進計画の 進行管理・評価	計画に参画している関係団体等の評価を行うとともに、市内各地区で地域懇談会を開催し、市民の評価を集約し、次期計画に反映する	※事業予算法人運営に計上 (410 千円)

	ア 地域懇談会の開催 イ 計画策定アドバイザーの導入	
--	-------------------------------	--

(4) 共同募金配分金事業

共同募金運動による一般募金の助成金を受けて、高齢者、障害者、児童・青少年、住民全般の福祉活動を推進する。

事業名等	内 容	備考
①ふれあい福祉総合相談事業	<p>多様化する生活課題に応えるため、関係機関の協力を得ながら、事務局相談と法律相談等を行う</p> <p>ア 事務局相談（職員による相談対応） 相談件数見込 600件</p> <p>イ 法律相談（新潟県弁護士会所属弁護士） 開設日 毎月2回（第2・4火曜日） 時 間 午後1時30分から午後4時 会 場 小出ボランティアセンター 相談件数見込 120件</p> <p>ウ 各種相談機関との連携強化 民生委員活動との連携による相談支援を行う</p> <p>エ 相談カレンダーの発行（年2回）</p>	【事業活動支出】 932千円
②地域の茶の間事業	<p>高齢者や障害者、子育て中の親子等が、地域の中で気軽に出来かけられる小規模な憩いの場づくりを目指し、町内（集落）、民生委員・児童委員、ボランティア等により行われる交流活動の支援を行う</p> <p>ア 助成の対象</p> <ul style="list-style-type: none"> a 地域住民やボランティアとの茶話会を中心とした交流に関すること b 健康づくりに関すること c 趣味やレクリエーションに関すること <p>イ 助成額（1月1回を限度）</p> <ul style="list-style-type: none"> a 小規模型（5～14人） 3,000円 b 中規模型（15人以上） 4,000円 <p>ウ 新規設置目標 5～6箇所の新規設置を目指し、地域・関係機関等と協議を進める</p> <p>エ 事業支援</p> <ul style="list-style-type: none"> a 運営スタッフ連絡会の開催 b 実践者向け実技講習会の開催 	【事業活動支出】 1,300千円

③2015 ふれあい福祉フェスティバル	出会い・交流の場として、また福祉のPRの場として幅広い人々が安心して参加し、身近な福祉と地域福祉の活性化につなげることを目的に実施する 実行体制 実行委員会を組織し、企画・運営	【事業活動支出】 520千円
④新入生記念品贈呈事業	市内の小学校に入学する児童に対し、新入学のお祝いと登・下校時の交通安全の願いをこめて記念品（体操着袋）を贈呈する（対象児童数：265人）	【事業活動支出】 250千円
⑤児童遊園地等整備費助成事業	地域の児童遊園地、公園及び広場等に、町内（集落）単独で新設または更新する遊具に助成を行う ア 助成額 総事業費の8割（限度額20万円以内） イ 巡回点検の実施 ウ その他 民生委員・児童委員及び市まちづくり室と連携	【事業活動支出】 649千円
⑥子ども豆まき大会	すべての親が子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じることができるよう、地域全体で子育て家庭を支えることを目的に実施する ア 実施回数 年1回 イ 実施体制 関係機関・団体と連携して実施	【事業活動支出】 368千円
⑦人形劇鑑賞事業	子ども達の心豊かな成長を応援することを目的に、市内幼稚園や保育園において人形劇鑑賞会を実施する ア 公演 市内人形劇団「風」による公演	【事業活動支出】 55千円
⑧福祉協力校活動費助成事業	市内の幼稚園・保育園（14園）、小学校（9校）、中学校（6校）が福祉協力校として福祉学習が推進されるよう側面的な支援を行う。また、福祉協力校の諸事業の実施のため、助成金を交付する	【事業活動支出】 810千円
⑨ふれあい配食サービス	高齢者世帯や障害者世帯等に対し、ボランティアによる配食サービスを実施することにより安否確認と閉じこもり防止を図る ア 利用者負担 1回300円 イ 配食日（毎週） a 水曜日 守門・入広瀬 b 木曜日 堀之内	【事業活動支出】 5,085千円 財源内訳 共募配分金 2,085千円 利用料 3,000千円

	<p>c 金曜日 小出・湯之谷・広神</p> <p>ウ 利用者数等</p> <p>a 利用者数(実) 200人</p> <p>b 配食数(延) 9,500食</p> <p>エ その他</p> <p>ボランティア研修会の実施</p>	
⑩高齢者交流事業	<p>65歳以上の人々暮らし高齢者を対象とし、地域社会の人々と交流を深め、孤独感の解消や生きがいづくり、介護予防などを目的に実施する</p> <p>ア 実施回数 年8回</p>	【事業活動支出】 814千円
⑪介護者リフレッシュ事業	<p>在宅で高齢者や障害者を介護されている方を対象に、介護者相互の情報交換・交流し心身のリフレッシュを図る</p> <p>ア 実施回数 年1回</p>	【事業活動支出】 481千円
⑫障害者交流事業	<p>障害者を対象に、社会参加の促進と交流・仲間づくりを目的に実施する</p> <p>ア ふれあいバス旅行</p> <p>イ ふれあいクリスマス会</p>	【事業活動支出】 1,605千円
⑬歳末たすけあい事業	<p>地域住民やボランティア、民生委員・児童委員などの関係機関・団体の協力のもと、支援を必要とする人たちが新たな年を明るく迎えることができるよう、おせち弁当の配食事業を実施する</p>	【事業活動支出】 563千円
⑭福祉関係団体業務の支援	<p>福祉関係団体の事務局を担当し、各団体の業務を円滑に進められるよう支援するとともに、本会の事業と相互協力できる関係づくりに努める</p>	

◆ 地域福祉事業予算概要

単位:千円

科 目	共同募金配分金			備考
	H27	H26	比較	
経常経費補助金収入	10,500	10,300	200	共同募金配分金
事業収入	3,725	3,940	△ 215	参加費、利用料
事業活動収入計 (1)	14,225	14,240	△ 15	
事業費支出	10,590	10,953	△ 363	食材費、委託費、事務消耗ほか
事務費支出	525	370	155	賃借料
助成金支出	3,110	2,917	193	地域の茶の間事業ほか助成
事業活動支出計 (2)	14,225	14,240	△ 15	
当期資金収支差額合計 (1)-(2)	0	0	0	

(5) ボランティアセンター事業

市民のボランティア活動に関する理解と関心を深めるとともに、組織的なボランティア活動の育成と連帯を図ることを目的にボランティアセンターの積極的な運営を行う。

事業名等	内 容	備考
①ボランティアセンターの充実	<p>ボランティアセンターの機能を強化し、多様なボランティアや市民活動のコーディネートを図り、ボランティアの振興に努める</p> <p>ア コーディネート機能の充実 イ ボランティア登録 ウ ボランティア情報の発信 エ ボランティア保険加入促進 オ 収集ボランティアの啓発 カ ボランティアセンター運営委員会の開催 キ ボランティア連絡協議会の発展強化 ク ボランティアグループの活動支援</p>	
②ボランティア講座の開催	<p>求められるニーズに対応できるよう、分野別にボランティアを養成する</p> <p>ア 傾聴ボランティア養成講座の開催 イ 配食ボランティア研修会の開催 ウ ボランティア講演会の開催</p>	
③福祉教育の推進	<p>小・中学生等を対象に、福祉体験を通して福祉に対する理解と関心を高め、思いやりの心を育てることを目的に実施する</p> <p>ア ボランティアスクール(中学生夏休みボランティア体験)の開校 イ 小・中学校へのボランティア学習支援 ウ 高校生福祉体験</p>	
④福祉施設協働事業	社会福祉施設との協働事業を円滑に進めるため、施設との連絡調整を行いながら、市民のボランティア活動への積極的な参加を促す	
⑤災害ボランティアセンターの運営	<p>災害時の要援護世帯への支援のため、「災害ボランティアセンター」を設置・運営する。</p> <p>ア 災害支援コーディネーターの養成 イ 他市町村社協の訓練に参加 ウ 災害時における他市町村社協との相互支援協定</p>	
⑥住民参加型在宅福祉サービス	住民相互の助け合い活動を目的として、地域みんなで高齢者や障害者などの生活を支え合う有償ボランティアのシステム作りを行う	

◆ 地域福祉事業予算概要

単位:千円

科 目	ボランティアセンター			備考
	H27	H26	比較	
事業収入	200	200	0	
その他の事業収入	40	0	40	ボランティア保険事務費
事業活動収入計 (1)	240	200	40	
事業費支出	1,495	1,000	495	事務消耗、保険料、委託費ほか
事業活動支出計 (2)	1,495	1,000	495	
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 1,255	△ 800	△ 455	
サービス区分間繰入金収入	1,255	800	455	法人運営繰入
その他の活動収入 計 (7)	1,255	800	455	
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	1,255	800	455	
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0	

2. 小口資金貸付事業

低所得者の世帯に対し、資金の貸付けと必要な援助を行い、経済的自立や生活の安定を支援する。

事業名等	内 容	備考
小口資金貸付事業	<p>ア 相談・支援 担当民生委員並びに関係機関と連携し相談・指導を行う</p> <p>イ 貸付条件等</p> <ul style="list-style-type: none"> a 対象世帯 魚沼市に6ヶ月以上居住する低所得世帯 (低所得の基準は、生活保護基準の1.7倍の所得の範囲内) b 貸付限度額 5万円以内 c 償還期間 1年以内 d 貸付利子 無利子 e 連帯保証人 	

◆ 小口資金貸付事業予算概要

単位:千円

科 目	小口資金貸付			備考
	H27	H26	比較	
貸付事業収入	1,500	1,500	0	貸付償還金
事業活動収入計 (1)	1,500	1,500	0	
事業費支出	50	30	20	事務費
事務費支出	0	20	△ 20	
貸付事業支出	1,750	1,750	0	貸付金
事業活動支出計 (2)	1,800	1,800	0	
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 300	△ 300	0	
拠点区分間繰入金収入	300	300	0	法人運営繰入
その他の活動収入 計 (7)	300	300	0	
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	300	300	0	
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0	

3. 受託事業

(1) 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業 県社協から受託）

判断能力が不十分な認知症高齢者、知的障害、精神障害等の方を対象に、福祉サービスの利用手続きや日常生活に必要な金銭管理の支援を行う。

事業名等	内 容	備考
日常生活自立支援事業	<p>ア 担当地域 魚沼市、小千谷市（2市）</p> <p>イ 対象となる利用者 高齢や障害のため、日常生活上の判断能力に不安のある方。医師による認知症の診断や療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の有無に関わらず、日常生活に不安を抱える方。在宅で生活されている方だけでなく、病院や施設で生活されている方も対象 本人の判断能力が低下していて、本事業を直接契約出来ない時にも、成年後見人等が選任された場合には、成年後見人等が本事業を契約することによって、援助の対象となる</p> <p>ウ サービス内容</p> <ul style="list-style-type: none"> a 福祉サービス利用援助 b 日常的な金銭管理 c 書類等預かり <p>エ 生活支援員研修会の開催（年3回）</p>	平成27年度より南魚沼市社協が基幹的社協なり、南魚沼市・湯沢町地域の利用者は南魚沼市社協へ移管

◆ 受託事業事業予算概要

単位:千円

科 目	福祉サービス利用援助			備考
	H27	H26	比較	
受託金収入	3,559	5,150	△ 1,591	県社協事業受託料
事業収入	966	1,296	△ 330	利用料収入
事業活動収入計 (1)	4,525	6,446	△ 1,921	
人件費支出	5,603	7,963	△ 2,360	職員給料、支援員報酬ほか
事業費支出	1,716	1,732	△ 16	支援員研修費、保守料ほか
事務費支出	725	905	△ 180	事務消耗、通信費ほか
事業活動支出計 (2)	8,044	10,600	△ 2,556	
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 3,519	△ 4,154	635	
拠点区分間繰入金収入	3,862	4,614	△ 752	法人運営繰入
その他の活動収入 計 (7)	3,862	4,614	△ 752	
その他の活動による支出	343	460	△ 117	退職共済掛金
その他の活動支出 計 (8)	343	460	△ 117	
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	3,519	4,154	△ 635	
予 備 費 (10)	0	0	0	
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0	

(2) 生活困窮者自立支援事業（市から受託）

生活保護に至る前の段階から生活困窮者の相談に対応し、抱える課題を把握するとともに、その置かれている状況や本人意思を十分に確認することを通じて、個々の状態にあった支援計画の作成や既存の関係事業との連携等を含めた支援を包括的に行い、生活困窮者が困窮状態から早期脱却を支援する。

事業名等	内 容	備考
生活困窮者自立支援事業	<p>本人に必要な支援を把握し、本人の状況に応じた支援が行われるように様々な支援に繋げる</p> <p>ア 訪問による支援を含め、生活に困っている方を早期に把握して、早期に支援できるようにする</p> <p>イ ワンストップ型の相談窓口として、生活に困窮している方への支援の情報とサービスの拠点となる</p> <p>ウ 様々な問題を複合的に抱えた方に、必要な支援を包括的・継続的に提供できるように対応する</p> <p>エ 地域での支援のネットワークを強化するために、様々な社会資源に働きかけて新たな地域づくりを進める</p>	

◆ 受託事業事業予算概要

単位:千円

科 目	生活困窮者自立支援			備考
	H27	H26	比較	
受託金収入	14,245	9,900	4,345	市事業受託料
事業活動収入計 (1)	14,245	9,900	4,345	
人件費支出	10,947	8,314	2,633	職員、臨時職員給料ほか
事業費支出	1,981	110	1,871	賃借料、印刷、委託費ほか
事務費支出	950	1,476	△ 526	研修費、事務費ほか
事業活動支出計 (2)	13,878	9,900	3,978	
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	367	0	367	
その他の活動による支出	367	0	367	退職共済掛金
その他の活動支出 計 (8)	367	0	367	
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	△ 367	0	△ 367	
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0	

(3) 生活福祉資金貸付事業（県社協から受託）

他機関からの借り入れが困難な低所得世帯等を対象に、世帯の経済的自立を目的として、民生委員と連携を取りながら、生活福祉資金等の貸付事業を行う。

事業名等	内 容	備考
生活福祉資金貸付事業	<p>ア 総合支援資金</p> <p>a 生活支援費 生活再建までの間に必要な生活費用</p> <p>b 住宅入居費 敷金・礼金等賃貸契約を結ぶために必要な費用</p> <p>c 一時生活再建費 生活を再建するために、一時的に必要かつ日常生活費で補うことが困難である費用</p> <p>イ 教育支援資金</p> <p>a 教育支援費 高校・大学等に就学するのに必要な経費</p> <p>b 就学支援費 高校・大学等への入学に際し、必要な費用</p> <p>ウ 福祉資金</p> <p>a 福祉費 日常生活を送る上で、又は自立生活に資するために一時的に必要と見込まれる費用</p> <p>b 緊急小口資金 緊急かつ一時的に生計の維持が困難となつた場合の少額の費用</p> <p>エ 不動産担保型生活資金 一定の居住用不動産を所有し、将来にわたりその住居に住み続けることを希望する高齢者世帯もしくは要保護世帯の高齢者世帯に対して、当該不動産を担保として生活費を貸付ける制度</p>	

◆ 受託事業事業予算概要

単位:千円

科 目	生活福祉資金			備考
	H27	H26	比較	
経常経費補助金収入	2,346	4,944	△ 2,598	県社協補助金
受託金収入	210	210	0	県社協受託金
事業活動収入計 (1)	2,556	5,154	△ 2,598	
人件費支出	2,346	4,944	△ 2,598	臨時職員給料ほか
事業費支出	353	356	△ 3	調査委員会費用弁償ほか
事業活動支出計 (2)	2,699	5,300	△ 2,601	
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 143	△ 146	3	
拠点区分間繰入金収入	143	146	△ 3	居宅介護支援繰入
その他の活動収入 計 (7)	143	146	△ 3	
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	143	146	△ 3	
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0	

(4) 聴覚障害者等コミュニケーション支援事業（市から受託）

聴覚や音声・言語機能に障害がある人に手話奉仕員等を派遣し、社会生活を円滑に営めるよう援助を行う。

事業名等	内 容	備考
聴覚障害者等コミュニケーション支援事業	<p>ア 医療機関の受診、相談又は健康診断を受ける場合</p> <p>イ 官公庁、学校その他の公共機関で行う手続き、相談又は事業に参加する場合</p> <p>ウ 就職面接、労働条件協議その他の就労に関する活動を行う場合</p> <p>エ 聴覚障害者等のために実施される会議、研修会に参加する場合</p> <p>オ 冠婚葬祭又は自治会などの地域活動に参加する場合</p> <p>(手話通訳者等登録者数：13人)</p>	

◆ 受託事業事業予算概要

単位:千円

科 目	聴覚障害者支援			備考
	H27	H26	比較	
受託金収入	100	100	0	市事業受託料
事業活動収入計 (1)	100	100	0	
事業費支出	100	100	0	手話通訳謝金ほか
事業活動支出計 (2)	100	100	0	
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	0	0	0	
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0	

(5) 在宅介護支援センター（市から受託）

地域の高齢者やその家族などの相談に応じ、必要な助言を行うとともに、各種の保健・福祉サービスが総合的に受けられるように、関係機関との連絡調整を行う。

事業名	内 容	備考
在宅介護支援センター運営事業	<p>ア 事業所</p> <p>a 在宅介護支援センター湯之谷</p> <p>b 守門居宅介護支援事業所</p> <p>イ 事業内容</p> <p>a 高齢者総合相談受付及び関係機関との情報共有、連絡調整</p> <p>b 地域包括支援センターとの連携</p> <p>c 魚沼市地域ケア会議への参加</p> <p>ウ 目標</p> <p>a 在宅介護支援センター湯之谷 相談件数月3件</p> <p>b 守門居宅介護支援事業所</p>	<p>【事業活動収支】</p> <p>◎在介湯之谷 収入 500千円 支出 500千円 収支 0千円</p> <p>◎守門居宅 収入 500千円 支出 500千円 収支 0千円</p>

◆ 受託事業事業予算概要

単位:千円

科 目	在宅介護支援センター			備考
	H27	H26	比較	
受託金収入	1,000	1,000	0	市在宅介護事業受託料
事業活動収入計 (1)	1,000	1,000	0	
人件費支出	1,000	1,000	0	職員給料ほか
事業活動支出計 (2)	1,000	1,000	0	
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	0	0	0	
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0	

4. 介護福祉事業

(1) 訪問介護事業

お客様の意思及び人格を尊重し、常にお客様の立場に立ったサービスの提供を行う。地域のニーズを捉え、課題解決の仕組みづくりを地域福祉課とともに検討し、地域に貢献できる事業所を目指す。また、情報共有の会議や勉強会を通じ資質と専門性の向上に取り組む。

事業所 本拠地

湯之谷出張所

守門・入広瀬出張所

事業名等	内 容	備考
①指定(介護予防)訪問介護	<p>ア 訪問介護計画の作成及び計画に基づくサービス提供と評価 目標 サービス提供時間 月1,400時間 延派遣回数 月1,200回</p> <p>イ 介護予防訪問介護計画の作成及び計画に基づくサービス提供と評価 目標 月30件</p> <p>ウ サービス担当者会議への参加 随時</p> <p>エ 個別ケア会議の開催 随時</p>	<p>【事業活動収支】</p> <p>◎本拠地 収入 39,280千円 支出 43,876千円 収支 △4,596千円</p> <p>◎湯之谷 収入 12,984千円 支出 21,494千円 収支 △8,510千円</p>
②地域福祉部門との連携	制度やサービスで対応できない地域課題をキャッチし地域福祉に繋げることを目的に定例会の実施	<p>◎守門・入広瀬 収入 36,104千円 支出 38,183千円 収支 △2,079千円</p>
③実習生の受け入れ等	<p>ア 積極的に実習生を受け入れ、福祉人材の育成に寄与する</p> <p>イ 講師等派遣</p>	
④会議・研修の参加	<p>ア 会議</p> <p> a 経営会議(管理者・サービス提供責任者)</p> <p> b サービス提供責任者会議</p> <p>イ 研修</p> <p> a 法人全体研修</p> <p> b 介護福祉課全体研修</p> <p> c 訪問全体研修</p> <p> d 階層別研修、スキルアップ研修</p>	
⑤その他	ア 利用者アンケートの実施	

◆ 介護福祉事業予算概要

単位:千円

科 目	訪問介護			備考
	H27	H26	比較	
経常経費補助金収入	3	4	△ 1	費目計上
介護保険事業収入	88,342	97,948	△ 9,606	介護報酬収入
受取利息配当金収入	3	3	0	利息配当金
その他の事業収入	20	55	△ 35	研修受入ほか
事業活動収入計 (1)	88,368	98,010	△ 9,642	
人件費支出	86,826	89,157	△ 2,331	職員、臨時職員給料ほか
事業費支出	8,998	11,223	△ 2,225	車輌費、修繕費ほか
事務費支出	7,729	6,560	1,169	PC、介護システム賃借料ほか
事業活動支出計 (2)	103,553	106,940	△ 3,387	
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 15,185	△ 8,930	△ 6,255	
施設整備等補助金収入	600	0	600	JAバンク助成金
施設整備等収入計 (4)	600	0	600	
固定資産取得支出	3,040	2,880	160	訪問活動車輌(2台)
施設整備等支出計 (5)	3,040	2,880	160	
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△ 2,440	△ 2,880	440	
積立資産取崩収入	2,600	2,880	△ 280	備品購入積立金取崩
その他の活動収入 計 (7)	2,600	2,880	△ 280	
積立資産支出	0	40,000	△ 40,000	
その他の活動による支出	186	0	186	退職共済掛金
その他の活動支出 計 (8)	186	40,000	△ 39,814	
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	2,414	△ 37,120	39,534	
予 備 費 (10)	900	1,300	△ 400	
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 16,111	△ 50,230	34,119	

(2) 通所介護事業（基準該当生活介護）

お客様一人ひとりの能力に応じた自立支援を目標に、「楽しく元気になれる」サービスの提供を行う。地域行事への参加、ボランティアの受け入れなど、より地域と密着したサービス提供に取り組む。障害福祉サービスの継続やお客様本位の新たなサービスメニューの拡大を図る。また、介護者教室や情報発信により、介護者・家族の支援を行う。

事業所 伊米ヶ崎デイサービスセンター 定員 23名

湯之谷デイサービスセンター 定員 25名

※基準該当生活介護（同時実施）

守門デイサービスセンター 定員 28名

事業名等	内 容	備考
①指定（介護予防）通所介護	<p>ア 通所介護計画の作成及び計画に基づくサービスの提供と評価</p> <p>a 伊米ヶ崎デイサービスセンター</p> <p>延利用者数 月 555人 稼働率 80%</p> <p>b 湯之谷デイサービスセンター</p> <p>延利用者数 月 585人 稼働率 86%</p>	

	<p>c 守門デイサービスセンター 延利用者数 月 686人 稼働率 84%</p> <p>イ 予防通所介護計画の作成及び計画に基づくサービスの提供と評価</p> <p>a 伊米ヶ崎デイサービスセンター 延利用者数 月 31人</p> <p>b 湯之谷デイサービスセンター 延利用者数 月 40人</p> <p>c 守門デイサービスセンター 延利用者数 月 38人</p> <p>ウ サービス担当者会議への参加</p>	
②基準該当生活介護 (湯之谷デイサービス)	<p>ア 生活介護計画の作成及び計画に基づくサービスの提供と評価</p> <p>a 常時介護を必要とする方に、入浴・食事・排泄の介護を行うとともに、趣味の場や生産活動の機会を提供する</p> <p>延利用者数 月 25人</p>	
③ボランティア、実習生の受け入れ	積極的にボランティア、実習生の受け入れをし、福祉人材の育成に寄与する	
④会議・研修等	<p>ア 会議</p> <p>a 経営会議(管理者・生活相談員)</p> <p>b 生活相談員会議、看護師会議</p> <p>c 各委員会</p> <p>イ 研修</p> <p>a 法人全体研修</p> <p>b 介護福祉課全体研修</p> <p>c 通所全体研修</p> <p>d 階層別研修、スキルアップ研修</p>	
⑤その他	<p>ア 介護教室</p> <p>イ 利用者アンケートの実施</p> <p>ウ デイサービス便りの発行</p>	

◆ 介護福祉事業予算概要

単位:千円

科 目	伊米ヶ崎デイサービス			湯之谷デイサービス			守門デイサービス			計			備考
	H27	H26	比較	H27	H26	比較	H27	H26	比較	H27	H26	比較	
経常経費寄附金収入	1	1	0	1	1	0	1	1	0	3	3	0	費目計上
経常経費補助金収入	1	0	1	1	20	△19	1	0	1	3	20	△17	費目計上
介護保険事業収入	66,800	69,225	△2,425	66,194	66,992	△798	76,610	81,969	△5,359	209,604	218,186	△8,582	介護報酬収入
障害福祉サービス等事業収入	0	0	0	2,473	1,250	1,223	0	0	0	2,473	1,250	1,223	湯:基準該当
受取利息配当金収入	1	2	△1	1	2	△1	1	0	1	3	4	△1	利息配当金
その他の事業収入	10	12	△2	10	5	5	10	10	0	30	27	3	研修受入ほか
事業活動収入計 (1)	66,813	69,240	△2,427	68,680	68,270	410	76,623	81,980	△5,357	212,116	219,490	△7,374	
人件費支出	53,841	54,870	△1,029	62,549	53,821	8,728	62,344	65,987	△3,643	178,734	174,678	4,056	職員、臨時職員給料ほか
事業費支出	13,155	12,396	759	17,870	15,618	2,252	18,568	17,440	1,128	49,593	45,454	4,139	光熱水費、食材費ほか
事務費支出	2,143	1,894	249	3,014	2,121	893	2,456	1,913	543	7,613	5,928	1,685	業務委託、賃借料ほか
事業活動支出計 (2)	69,139	69,160	△21	83,433	71,560	11,873	83,368	85,340	△1,972	235,940	226,060	9,880	
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△2,326	80	△2,406	△4,753	△3,290	△1,463	△6,745	△3,360	△3,385	△23,824	△6,570	△7,254	
施設整備等収入計 (4)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
固定資産取得支出	600	12,900	△12,300	900	6,340	△5,440	4,500	4,890	△390	6,000	24,130	△18,130	伊:ハット、湯:玄関扉-子、守:送迎車
施設整備等支出計 (5)	600	12,900	△12,300	900	6,340	△5,440	4,500	4,890	△390	6,000	24,130	△18,130	
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△600	△12,900	12,300	△900	△6,340	5,440	△4,500	△4,890	△390	△6,000	△24,130	△18,130	
積立資産取崩収入	600	12,900	△12,300	3,200	6,340	△3,140	4,500	4,890	△390	8,300	24,130	△15,830	備品購入積立金取崩
その他の活動収入 計 (7)	600	12,900	△12,300	3,200	6,340	△3,140	4,500	4,890	△390	8,300	24,130	△15,830	
その他の活動による支出	111	0	111	129	0	129	112	0	112	352	0	352	退職共済掛金
その他の活動支出 計 (8)	111	0	111	129	0	129	112	0	112	352	0	352	
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	489	12,900	△12,411	3,071	6,340	△3,269	4,388	4,890	△502	7,948	24,130	△16,182	
予 備 費 (10)	500	500	0	500	500	0	500	500	0	1,500	1,500	0	
当期資金収支差額合計 (1)=(3)+(6)+(9)-(10)	△2,937	△420	△2,517	△13,082	△3,790	△9,292	△7,357	△3,860	△3,497	△23,376	△8,070	△15,306	

5. 障害福祉事業

(1) 居宅介護

※地域生活支援事業移動支援（市から受託）含む

身体障害者、知的障害者、精神障害者やその家族が地域で安心してくらせるよう、その有する能力及び必要に応じて介護給付・移動支援を行う。

事業所 本拠地

湯之谷出張所

守門・入広瀬出張所

事業名等	内 容	備考
①居宅介護	<p>ア 居宅介護計画の作成及び計画に基づくサービスの提供と評価</p> <p>a お客様の状況や環境等に応じ、入浴・食事・排泄などの介護や、調理・掃除・洗濯等の家事並びに生活に関する相談や助言など生活全般における援助を行う</p> <p>目標 延利用者数 月 350人 月 30件</p>	<p>【事業活動収支】</p> <p>◎本拠地 収入 10,075千円 支出 12,818千円 収支 △2,743千円</p> <p>◎湯之谷 収入 5,378千円 支出 6,723千円</p>
②移動支援	<p>ア 単独では外出が困難な人が、外出や余暇活動をする際に必要となる移動支援や身の回りの介助を行う</p> <p>目標 延利用者数 月 4人 月 2件</p>	<p>収支 △1,345千円</p> <p>◎守門・入広瀬 収入 1,387千円 支出 2,037千円 収支 △650千円</p>
③その他	重度訪問介護、行動援護については利用実績が無いことから、平成27年度より廃止	

◆ 障害福祉事業予算概要

単位:千円

科 目	居宅介護			重度訪問介護			行動援護			計			備考
	H27	H26	比較	H27	H26	比較	H27	H26	比較	H27	H26	比較	
障害福祉サービス等事業収入	16,820	16,500	320	0	3	△ 3	0	3	△ 3	16,820	16,506	314	自立支援給付費(移動支援含む)
その他の事業収入	20	0	20	0	0	0	0	0	0	20	0	20	
事業活動収入計 (1)	16,840	16,500	340	0	3	△ 3	0	3	△ 3	16,840	16,506	334	
人件費支出	18,418	13,728	4,690	0	0	0	0	0	0	18,418	13,728	4,690	職員、臨時職員給料ほか
事業費支出	1,836	1,620	216	0	3	△ 3	0	3	△ 3	1,836	1,626	210	車輌費、賃借料ほか
事務費支出	1,324	1,052	272	0	0	0	0	0	0	1,324	1,052	272	PC、介護システム賃借料ほか
事業活動支出計 (2)	21,578	16,400	5,178	0	3	△ 3	0	3	△ 3	21,578	16,406	5,172	
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 4,738	100	△ 4,838	0	0	0	0	0	0	△ 4,738	100	△ 4,838	
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 4,738	100	△ 4,838	0	0	0	0	0	0	△ 4,738	100	△ 4,838	

II. 公益事業

1. 居宅介護支援事業

お客様の選択に基づき、心身の状況や置かれている環境等に応じた適切な保健・医療・福祉サービスが総合的にかつ効率的に受けられるよう連絡調整を行う。また、地域包括支援センターとの連携を強化し、予防プランの受託を積極的に行う。

地域包括ケア推進のために、地域ニーズの把握に努め、地域ケア会議における多職種との情報共有や仕組づくり等に取り組む。

お客様、ご家族に寄り添った支援が提供できるよう質の高いケアマネジメントを目指し研鑽に努める。

事業所 在宅介護支援センター湯之谷

守門居宅介護支援事業所

事業名等	内 容	備考
①要介護者ケアマネジメント業務	<p>ア ケアプランの作成 目標 在介湯之谷 月 155件 守門居宅 月 125件</p> <p>イ サービス担当者会議の開催</p> <p>ウ サービスの実施（依頼・連絡・調整）</p> <p>エ モニタリング・アセスメント業務の実施</p> <p>オ 給付管理業務の実施</p>	
②介護予防ケアマネジメント受託業務	<p>ア 予防ケアプランの作成 目標 在介湯之谷 月 19件 守門居宅 月 13件</p> <p>イ サービス担当者会議の開催</p> <p>ウ サービスの実施（依頼・連絡・調整）</p> <p>エ モニタリング・アセスメント業務の実施</p>	
③介護認定調査受託事業	<p>ア 要介護認定調査の実施 目標 在介湯之谷 月 13件 守門居宅 月 11件</p>	
④ボランティア、実習生、研修医の受け入れ	<p>ア 積極的にボランティア、実習生の受け入れをし、福祉人材の育成に寄与する</p> <p>イ 研修医の地域医療実習の協力</p>	
⑤会議・研修	<p>ア 会議</p> <p> a 経営会議（管理者・介護支援専門員）</p> <p> b 居宅合同会議</p> <p> c 外部会議（地域ケア会議・介護支援専門員連絡協議会等）</p>	

	イ 研修 a 法人全体研修 b 介護福祉課全体研修 c 居宅全体研修 d 階層別研修、スキルアップ研修	
⑥その他	ア 利用者アンケートの実施 イ ケアマネ便りの発行	

◆ 居宅介護支援事業予算概要

単位:千円

科 目	在宅介護湯之谷			守門居宅			計			備考
	H27	H26	比較	H27	H26	比較	H27	H26	比較	
介護保険事業収入	35,054	34,963	91	26,080	27,900	△ 1,820	61,134	62,863	△ 1,729	介護報酬収入
その他の事業収入	109	137	△ 28	100	100	0	209	237	△ 28	研修受入ほか
事業活動収入計 (1)	35,163	35,100	63	26,180	28,000	△ 1,820	61,343	63,100	△ 1,757	
人件費支出	26,273	25,345	928	21,758	21,267	491	48,031	46,612	1,419	職員給料、法定福利費ほか
事業費支出	1,946	1,933	13	1,911	2,023	△ 112	3,857	3,956	△ 99	車輌費、賃借料ほか
事務費支出	3,422	3,422	0	1,989	2,010	△ 21	5,411	5,432	△ 21	PC、介護システム賃借料ほか
事業活動支出計 (2)	31,641	30,700	941	25,658	25,300	358	57,299	56,000	1,299	
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	3,522	4,400	△ 878	522	2,700	△ 2,178	4,044	7,100	△ 3,056	
積立資産支出	0	8,000	△ 8,000	0	10,000	△ 10,000	0	18,000	△ 18,000	
事業区分間繰入金支出	693	0	693	550	0	550	1,243	0	1,243	地域福祉事業繰出
拠点区分間繰入金支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他の活動による支出	91	0	91	73	0	73	164	0	164	退職共済掛金
その他の活動支出 計 (8)	784	8,000	△ 7,216	623	10,000	△ 9,377	1,407	18,000	△ 16,593	
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	△ 784	△ 8,000	7,216	△ 623	△ 10,000	△ 9,377	△ 1,407	△ 18,000	16,593	
予 備 費 (10)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	2,738	△ 3,600	6,338	△ 101	△ 7,300	7,199	2,637	△ 10,900	13,537	

2. 指定管理施設運営事業（市から受託）

指定管理者の指定を受けた公共施設で住民サービスの向上を目指した管理運営を行い、当該施設を活用して地域に密着した福祉活動や介護保険事業等の運営を一体的に行う。

事業名等	内 容	備考
指定管理施設運営事業	ア 小出ボランティアセンター イ 広神老人福祉センター ウ 守門高齢者居住施設	

◆ 指定管理施設運営事業予算概要

科 目	小出ボランティアセンター		広神老人福祉センター		守門高齢者居住		計		備考
	H27	H26 比較	H27	H26 比較	H27	H26 比較	H27	H26 比較	
受託金収入	6,060	3,650	2,410	4,560	0	300	240	60	10,920 8,450 2,470 市指定管理料
事業収入	0	0	0	0	0	420	460	420	△ 40
事業活動収入計 (1)	6,060	3,650	2,410	4,560	0	720	700	20	11,340 8,910 2,430
人件費支出	1,414	0	1,414	2,379	2,145	0	0	0	3,793 2,145 1,648 職員 登録職員給料ほか
事業費支出	6,740	6,540	200	3,003	3,214	△ 211	850	1,101	△ 251 10,593 10,855 △ 262 光熱水費、施設管理委託ほか
事業活動支出計 (2)	8,154	6,540	1,614	5,382	5,359	23	850	1,101	△ 251 14,386 13,000 1,386
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△ 2,094	△ 2,890	796	△ 822	△ 799	△ 23	△ 130	△ 401	△ 271 △ 3,046 △ 4,090 1,044
事業区分間織入金収入	2,094	2,890	△ 796	822	799	23	130	0	130 3,046 3,689 △ 643 地域福祉事業織入
その他の活動収入 計 (7)	2,094	2,890	△ 796	822	799	23	130	0	130 3,046 3,689 △ 643
その他活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	2,094	2,890	△ 796	822	799	23	130	0	130 3,046 3,689 △ 643
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0	0	0	0	△ 401	0	△ 401 401

3. 公益受託事業

(1) 守門健康センター管理事業（市から受託）

事業名等	内 容	備考
守門健康センター管理	魚沼市から受託した施設の適正な管理を行う ア 守門健康センター	

◆ 守門健康センター管理事業予算概要

単位:千円

科 目	守門健康センター管理			備考
	H27	H26	比較	
受託金収入	17,700	0	17,700	市事業受託料
事業活動収入計 (1)	17,700	0	17,700	
人件費支出	6,004	0	6,004	職員、登録職員給料ほか
事業費支出	11,696	0	11,696	光熱水費、燃料費
事業活動支出計 (2)	17,700	0	17,700	
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	0	0	0	
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0	

(2) 生きがい活動支援通所事業（市から受託）

介護予防の一環として「生きがいティサービス」を実施する。高齢者の社会参加や自立的な生活の促進をすることで要介護状態になることを防ぎ、健康でいきいきとした生活を送るため、日常動作訓練・レクリエーション等を行う。

事業名等	内 容	備考
生きがい活動支援通所事業	<p>一人暮らし高齢者や日中一人になる人、閉じこもりがちになる人を対象に、通所による事業を実施しており、交流や趣味活動、日常動作訓練、入浴、給食などの各種サービスを提供する</p> <p>ア 実施場所</p> <ul style="list-style-type: none"> a 堀之内社会福祉センター b 広神老人福祉センター c 守門高齢者センター <p>イ 利用者負担</p> <ul style="list-style-type: none"> a 市民税課税世帯 1回750円 b 市民税非課税世帯 1回450円 	

◆ 生きがい活動支援通所事業予算概要

単位:千円

科 目	生きがい活動			備考
	H27	H26	比較	
受託金収入	15,000	15,000	0	市事業受託料
事業活動収入計 (1)	15,000	15,000	0	
人件費支出	9,226	9,736	△ 510	職員、登録職員給料ほか
事業費支出	5,734	5,222	512	昼食代、送迎車輌費
事務費支出	40	42	△ 2	インフルエンザ予防接種
事業活動支出計 (2)	15,000	15,000	0	
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	0	0	0	
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0	

(3) 介護用品支給事業（市から受託）

在宅の寝たきり高齢者、身体障害者手帳1・2級所持者で介護が必要な人に対し、給付券により介護用品の支給を行う。また、要介護4・5で市民税非課税世帯の人に対しては、給付券を割り増しして交付を行う。

事業名等	内 容	備考
家族介護用品支給事業	<p>ア 家族介護用品支給事業</p> <p>65歳以上の方で要介護3以上または身体障害者手帳1・2級所持者、65歳以上の方で要支援・要介護認定を受けていない身体障害者手帳1・2級所持者に対して、介護用品の給付券を交付することにより経済的負担の軽減を図ることを目的に実施する</p> <p>a 500円の給付券を月6枚交付する</p> <p>イ 家族介護継続支援事業</p> <p>65歳以上の要介護度3以上の方及び要支援1以上の認定を受けている方で、身体障害者手帳1・2級所持者であるか高齢者世帯あるいは生活保護世帯のいずれかに該当する方に、紙おむつ等と引き換えができる給付券を交付することにより経済的負担の軽減を図ることを目的に実施する</p> <p>a 要介護4以上の市民税非課税世帯は500円の給付券を月12枚交付。それ以外は月6枚交付する</p> <p>(対象介護用品)</p> <p>紙おむつ、尿とりパッド、パンツ式紙おむつ、紙の給水防水シーツ、おしり拭き、大人用身体拭き(介護用)、介護用使い捨て手袋、消臭液(ポータブルトイレ用)、消臭スプレー(ポータブルトイレ用)、消臭シート(ポータブルトイレ用)</p>	

◆ 介護用品支給事業予算概要

単位:千円

科 目	介護用品支給			備考
	H27	H26	比較	
受託金収入	19,790	20,000	△ 210	市事業受託料
事業活動収入計 (1)	19,790	20,000	△ 210	
事業費支出	19,790	19,972	△ 182	紙おむつ給付
事務費支出	0	28	△ 28	
事業活動支出計 (2)	19,790	20,000	△ 210	
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	0	0	0	

(4) 軽度生活支援事業（市から受託）

自立した在宅生活の継続を図るため、在宅で日常生活上の援助を必要とする概ね65歳以上の高齢者世帯等に対して、軽易な日常生活上の援助を行う。

事業名等	内 容	備考
①生活援助	<p>ア 日用品の買い物、薬の受け取り等の援助</p> <p>イ 自立生活支援のための掃除、洗濯、調理等の介助</p> <p>目標 月70回</p>	<p>【事業活動支出】</p> <p>1,982千円</p>
②除雪援助事業	<p>市民税非課税世帯で、在宅の一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯、障害者世帯、母子世帯などの要援護世帯で、自力で屋根雪除雪・門払いができない場合に、除雪援助を実施する。</p> <p>ア 利用者負担</p> <p>a 屋根雪等の除雪 1時間500円</p> <p>b 門払い 1回 150円</p>	<p>【事業活動支出】</p> <p>8,000千円</p>

◆ 軽度生活援助事業予算概要

単位:千円

科 目	軽度生活支援			備考
	H27	H26	比較	
受託金収入	9,982	8,000	1,982	市事業受託料
事業活動収入計 (1)	9,982	8,000	1,982	
人件費支出	9,527	7,545	1,982	職員、登録職員給料ほか
事業費支出	455	0	455	消耗品、コピー
事務費支出	0	455	△ 455	
事業活動支出計 (2)	9,982	8,000	1,982	
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	0	0	0	

III. 収益事業

1. 会館運営事業

事業名等	内 容	備考
会館運営事業	会館の利用許可及び施設の維持管理に関する業務を行う。 ア 小出ボランティアセンター イ 広神老人福祉センター	

◆ 会館運営事業予算概要

単位:千円

科 目	小出ボランティアセンター			広神老人福祉センター			計			備考
	H27	H26	比較	H27	H26	比較	H27	H26	比較	
事業収入	610	696	△ 86	1	1	0	611	697	△ 86	会館使用料
その他の事業収入	2	3	△ 1	0	0	0	2	3	△ 1	電話使用料ほか
事業活動収入計(1)	612	699	△ 87	1	1	0	613	700	△ 87	
事業費支出	612	699	△ 87	1	1	0	613	700	△ 87	光热水費
事業活動支出計(2)	612	699	△ 87	1	1	0	613	700	△ 87	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

IV. 組織・機構図 (平成27年4月1日)

